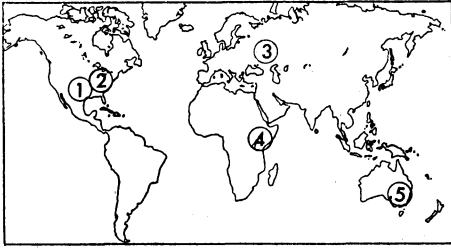


世界の異常天候とその影響評価 (7)

(Climate Impact Assessment, May 1984)



1. メキシコ・合衆国南西部——干ばつ軽減

メキシコとテキサス州では大雨が降り干ばつからの救いの雨となった。しかし、雨の降るのが遅かったので、メキシコ北東部やテキサス州の大部分における灌漑のされていない穀物への悪影響はまぬがれないであろう。テキサス州西部の牧場では、干ばつのためにすでにかかなりの家畜の被害が生じている。テキサス州の中部や北部では雨の降らなかつたところがあり、干ばつが続いている。綿花の生産の中心地であるテキサス州ラボックでは、今年に入ってからの雨量は 25 mm (平年の20%) にすぎない。

2. 合衆国中部・東部——大雨・洪水

合衆国の中部と東部では大雨が降って洪水が発生し、少なくとも34人が死亡し、数千人が家を捨てて避難した。被害額は2億5千万ドルを越えるの見積もられている。特に被害が大きかったのは、5月7～9日のケンタッキー州とテネシー州、5月27日のオクラホマ州タルサ地

域、5月30～31日のニューヨーク州とニューイングランド地方である。

3. ソ連——干ばつ

ソ連のヨーロッパ地域東部の農業地帯では、降水量が平年以下であった4月に続き、5月も乾燥かつ高温の天候となった。このため、厳しい干ばつが発生しており、ボルガ河流域の広大な地域では秋播きと春播きの小麦の両方が悪影響を受けている。この地域の月降水量は平年の1/3以下である。

4. アフリカ東部——干ばつ

エチオピアでは大雨が降って干ばつは解消したが、ケニアとソマリア南部の大部分では降水量が平年の半分以下であるため、食糧不足に陥る恐れが強まっている。乾天は南方に拡がってタンザニアに達している。このため、タンザニアでは今後も食糧不足が続くと予想されている。

5. オーストラリア——乾天

オーストラリアの南東部と南部の内陸の農業地域では5月の降水量は平年の40%以下であり、小麦の種まきと発芽にとって好ましくない状況になっている。6月に降水量が増えないと、生産高が減少する可能性も出てくるであろう。

(注：上記各項目の番号は図中の番号に対応している)

(気象庁気候変動対策室 真野裕三)